

TRUE LIFE MARKET 2023

2023.5.6 土 10:00-16:00

にぎわいの
木木
Inabe
Hütte



2022年度 初回開催ビジュアル

●2023のテーマ：土

●出店：30店舗以上（市内外予定）飲食店・雑貨店など

●各種コンテンツ（予定）

- ・市内団体や農家さんによる堆肥づくり体験、紹介、販売
- ・子どもの遊び場（土遊び、土で絵を描こう）
- ・土染め体験
- ・新聞紙を活用したエコバッグづくり体験

●来場者数（目標）：3,000人

●主催：（一社）グリーンクリエイティブいなべ / とわでざいん (toi designs)

●お問い合わせ

（一社）グリーンクリエイティブいなべ / 担当 加藤・荒木

電話 0594-72-7705

今日は、あなたにとっての「いいもの」「魅力あるもの」「愛でたいもの」と出会える一日になりますように。

自分にとって誰かにとって

ホンモノの「ゆたかさ」とは何かを

共に考え、いなべで暮らしを

より楽しむためのマーケット

True Life Market

いいもの。市場

●コンセプト

あなたにとって、魅力ある「もの」とはなんでしょうか。

「いいもの」とはなんでしょうか。

おいしいもの、新しいもの、便利なもの、地元のもの、有名なもの、安いもの、安全なもの……。

あなたはどんな“もの”や“こと”を「いいもの」として見ますか？どのような「いいもの」が暮らしをゆたかにするのでしょうか。また、「ゆたかさ」とは、何でしょうか。

さまざまな人がそれぞれの考えを持っているはずです。

いなべでのゆたかな暮らしが、これから先もずっと巡り続けることができるよう願いを込めて…マーケットを開催します。

マーケット（市場）の名前は、**True Life Market**

緑芽吹く春、いなべで市内の“どこか”で開催していきます。

良いと思うものや魅力あるもの、愛でたいものを求め、いなべに集まり、自分たちの暮らし方を見つめ、共に考え、心より“楽しむ”未来につながる場所へ。

True Life Market vol.1 からの

● 継続テーマ



True Life Market 初回となる vol.1 では、「お買い物の当たり前」をひと昔前の方法でできるように、たのしい取り組みを行いました。このテーマは今回以降も継続していきます。消費するものを少しでも減らして、この手でつくるたのしい「こと」に変えていけば、わたしたちの暮らしはもっとゆたかに、健やかになるのではないのでしょうか。

今でいうところの「手間」は、当時暮らしのゆたかさの重要な要素でした。今は手軽さの中に、隠れた消耗品がたくさんあります。そして、わたしたちは、途端に役目を終えてゴミになるプラスチック製の便利な「使い捨て」にお金を払い買い物をし続け、お金をかけてゴミを捨てているのです。

昔は「ゴミ」と呼ばれるものはありませんでした。

例えば、毎日出る生ゴミは「ゴミ」ではなく、作物を育てる肥やしとして、土に還すことができます。このように、知らないだけで、意識してみると自然に還すことができるものや、再利用できるものはたくさんあります。

想像してみてください……例えば、中身だけ買うことができたなら？ 必要な分だけ量り売りをしているお店が身近にあれば？

まず、今日という日はゴミを意識して、自分だけの器やカゴなどでお買い物をたのしんでみてください。

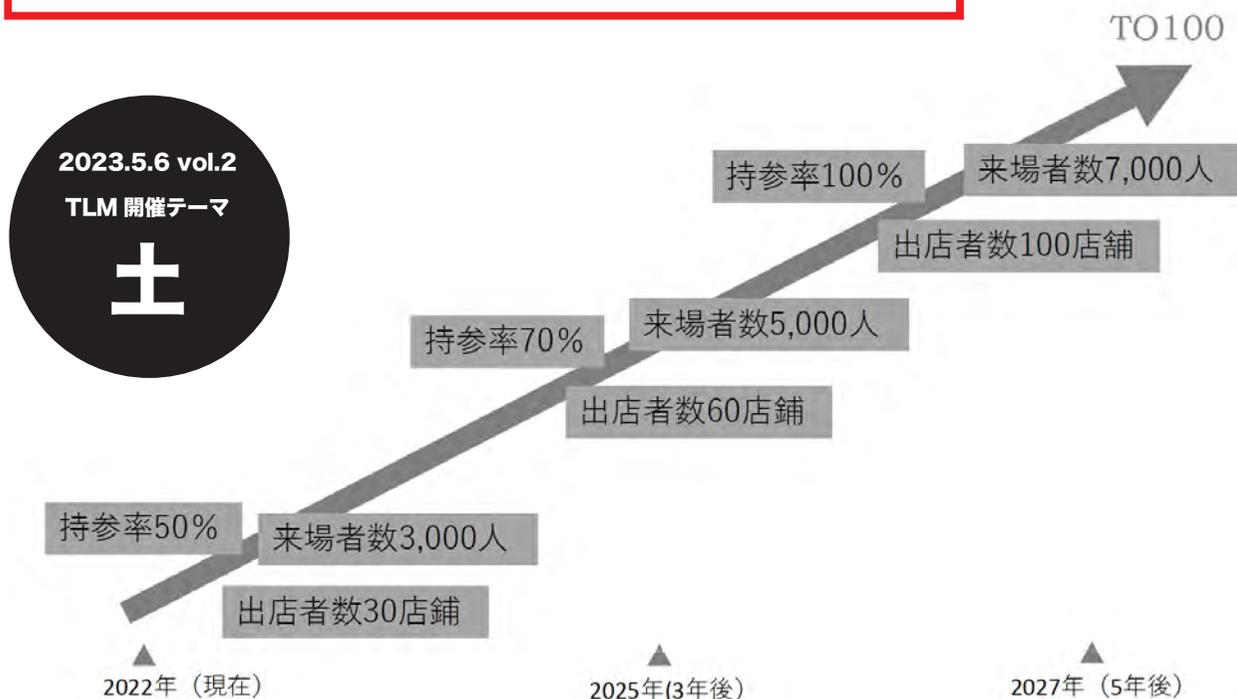


● TRUE LIFE MARKET 2022 vol.1 (R4.11.5 開催) まとめ



- 来場者数：約 2200 人（課題：各所への情報発信不足）
- 食器レンタル数：28 組
- レンタル率：4.4%（※飲食店レジカウントあたり）

※出店者アンケートより



●未来に向けて…

プラスチックフリー・ゼロウェイスト（ゴミ0）が当たり前のマーケットへ。

出店者も参加者も「いいもの。魅力あるもの。」を求めていなべに集まり、“まちづくり”について共に考え、参加し、心より“愉しむ”未来につながる場へ。今後は、いなべ市のさまざまなフィールドでマーケットを展開していく。

● TRUE LIFE MARKET 2022 vol.1 R4.11.5 photo



● TRUE LIFE MARKET 2022 vol.1 R4.11.5 photo



● TRUE LIFE MARKET でわたしたちが大切にしたいこと

- ① いなべの魅力を伝えつながらる
- ② 地域の自然環境を大切に守り、未来へバトンをつなぐ
- ③ つくり手の想いや“モノ”が生まれるストーリーを大切にする
- ④ さまざまな地域課題や現状のまちの動向に興味関心を持ってもらえるようアクションする
- ⑤ これからの未来を生きるこどもたちの記憶に残る体験を提供する

五縁
アクション



● 「五縁アクション」とは…

前ページでお伝えさせていただいた、「五縁アクション」と TRUE LIFE MARKET のテーマを元に考えた、以下 8 つのアクション（行動）をしていただいた方には、「縁」と書かれた木をお渡しし、木を 5 つ集めた方に抽選でプレゼントをお渡しさせていただきます。

出店者の皆さまには、プレゼント提供へのご協力をお願いいたします。

来場者の皆さまには、アクションして参加いただくことで、このマーケットの想いやテーマに触れ、よりたのしんでいただければと思っています。

※ プレゼントご提供可能な店舗様は、プレゼント「1つ」ご準備のほどお願いいたします。 ※以下は第 1 回目のアクションです。今回のアクションは検討中です。

五縁アクション

下記のアクションをして五縁を集めよう！

1
..
買い物袋を持参する



受付前

※受付で提示

2
..
受付の「木」にシールを貼る



受付前

3
..
ワークショップに参加する

A B C D



ワークショップ

※1つ参加で1縁

4
..
トークライブを聞く



ステージ

5
..
食器を持参する・レンタルする



受付前

※受付で提示

6
..
パネル展示を読んで感想を書く



受付前

※感想ノートがあります

7
..
量り売りを利用する

4 5



SHOP

8
..
にぎわいの森の木々を眺める



森の中

※ひとり1縁まで

縁を5つ集めると

抽選で素敵なプレゼントが
当たるかも！

8つのアクションで縁を5つ集めたら
1回抽選ができます！

※1アクションにつき1縁を1つお渡しします（縁と書かれた木の板）
※縁と書かれた木の板を5つ集めたら、受付までお持ちください
※不明点はお近くのスタッフまで
※プレゼントは無くなり次第、終了となります



● TRUE LIFE MAERKET 2022 vol.1 出店者の皆さまからの「声」と次回開催に向けて

※ ご協力いただいたアンケートから一部抜粋

声

- 今回のテーマは普段意識しない事を意識してもらうと言う点ですごく良かったと思います。このテーマを一過性で終わらせるのではなく、マイ容器等持参等は継続して行く事で意識が根付いていくのかなと思います。
- 容器持参の方も多く、また、持参されていない方にはこちらで事前に用意した新聞紙で作った袋で対応させていただいた。ほうじ茶の量り売りも喜んでいただけました。
- テイクアウト容器が浸透する事でこちらのゴミも減るのでとても助かりました！
- 普段出店しているマルシェに比べ、マイバックを持参されている方や簡易包装にご理解をいただける方が多かったように思います。「容器をお持ちですか？」の声かけに、「どうして？」と不思議そうな方もおられましたが、テーマを説明すると「そうなんだ～」と興味深く聞いてくださいました。マイバッグに比べマイ容器は、まだまだ浸透していない印象でした。
- 容器のアクションをちらほら見かけて良かったと思います。ステージ上の演目を子ども向けのものや、エンタメ要素のあるものを増やしていただくと大人も子どもも楽しいと思います。にぎわいの森周辺ももう少し出店が増えると周りが楽しくなったかなと思いました。GCI と行政側の感想を具体的に示していただけると出店側もヒントをいただく形で有益かと思えます。
- コンセプトや、衛生面で問題なければ、持ち込みのお皿を洗える場所があったら良いかと思いました。前のお店の残りがついているまま使用している方もいらっしゃったので！
- せっかくの素敵なテーマ設定なので、会場内で意図が説明された掲示がもっとあっても（全体、各ブース）良かったのでは。五縁アクションは、何でポイントがもらえるのか。景品交換はどこに行けばよいのか。など、出店者側にもお客様にももう少しわかりやすいと良いかと思いました。

★ 会場内にマーケットのコンセプトやテーマをより分かりやすく掲示するなど、さらなる工夫をしていく

・マーケットに初めて来たお客さまをはじめ、にぎわいの森にただ来たお客さまにもコンセプトをより分かりやすく、体感出来るよう努める

★ 初回テーマである「容」プラ容器をやめてみよう・プラスチックフリー / 自分だけの「容れもの」でお買い物をたのしもう については、マーケットの基本テーマとして、継続していく

・マイバック+容器持参についての事前案内をしっかりとプッシュしていく

・持ち込みのお皿や容器も洗い場で洗うことが出来ることをしっかりお伝えする

★ 各種コンテンツのブラッシュアップ / 大人も子どもも心からたのしむことの出来るコンテンツ

★ 「五縁アクション」をもう少し分かりやすく整理し、出店者・来場者の皆さまにしっかりお伝えさせていただくよう努める

★ 各種コンテンツのさらなるブラッシュアップを図る

★ 運営側と出店者さんとがさらに密になって企画を進めていけるよう連携を強化していきます

改善点

● TRUE LIFE MARKET を特に届けたい人

自然・環境・まちづくり
マーケットのコンセプトワードに
あまり興味関心の無い人たち



これからの未来を生きる子どもたち
若い世代（10代-20代）

自然・環境・まちづくり
マーケットのコンセプトワードに
興味関心はあるが、行動に移すま
で至っていない人たち

いなべ（里地里山）、自然が近い
場所での「暮らし」に興味関心
がある人